



平成 17 年 11 月 25 日

各 位

東京都渋谷区道玄坂一丁目14番6号
アルファグループ株式会社
代表取締役会長 吉岡伸一郎
(JASDAQ・コード番号3322)

問い合わせ先 取締役管理本部長
猪野由紀夫

電話番号 03-5469-7300 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 23 日の平成 17 年 3 月期決算発表時に公表しました平成 18 年 3 月期 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日) の連結業績予想及び単体業績予想を、下記のとおり修正いたします。

1. 平成 18 年 3 月期業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

【連結業績予想】

(単位: 百万円未満切捨、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	14,821	628	333
今回修正予想 (B)	12,469	10	5
増減額 (B - A)	2,531	618	328
増減率	15.9%	98.4%	98.5%
前期実績	8,686	705	370
前期実績との増減率	43.6%	98.6%	98.7%

【個別業績予想】

(単位: 百万円未満切捨、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	5,726	63	36
今回修正予想 (B)	6,098	142	126
増減額 (B - A)	372	79	90
増減率	6.5%	126.5%	250.0%
前期実績	5,698	649	347
前期実績との増減率	7.0%	78.0%	63.7%

2. 平成 18 年 3 月期修正の理由

今後の国内の経済環境については、引き続き緩やかな回復基調が続くと見込まれ、企業の収益性向上を目的とした効率化の推進や雇用形態の変化を受け、人材業界に対する需要も引き続き堅調に推移していくものと思われます。

このような状況の下、当社グループは、とりわけスタッフサービス部門の抜本的な改革に着手すべく、当下半年より Web 媒体を使用した採用戦略の本格的展開や採用・受注などの基幹業務を支店から本店に移管することで業務効率化を図るなど各種経営資源の選択と集中を鋭意進めております。また、長期間にわたって安定した収益をもたらす事が可能な技術者派遣・営業派遣、及び物流・倉庫業界への長期レギュラー案件拡大など、売上拡大に向けた施策を各子会社において重点展開しております。既存の大口顧客の深耕による売上の拡大と、特に物流・倉庫業界への企画提案力を強化して付加価値を提供し、かつ幅広い

ニーズに応える体制を構築することにより、安定的な事業の成長を実現して参ります。

一方、採用力強化については、応募者の効率的な取り込み及び既存登録スタッフの稼働率向上を重点施策として進めてまいります。短期軽作業については、基幹業務を本店に集中させることにより顧客ニーズとスタッフニーズを一元管理し、均質でもれのない効率的な運用を致します。また、長期レギュラー案件についてはその業態に合わせて、採用専任者を追加で配置するなど、強弱をつけた採用を行っていく所存です。

当連結中間会計期間におきまして人材サポート事業の子会社は各社独自の事業展開を進めて参りましたが、その結果、一部グループ内で重複する分野が存在し、グループ的な経営資源の最大効率を図るにはいたっておりませんでした。この現状を踏まえ、下半期より社長直轄のグループ戦略室が中心となり、地域・業種毎に営業リソース・支店、広告宣伝費等についての経営資源の再配分を行って参ります。引き続き下半期もあらゆるリソース・チャンネルからの人材確保を最優先課題と認識し、費用対効果を継続的に検証するとともに、現在の取り組みをさらに加速させヒト・モノ・カネといった資源の最適な分配を行い、生産性向上・コスト削減により収益改善を図り、黒字体質への変革に注力して参ります。

以上の経営施策を踏まえて、以前発表いたしました通期業績予想を大幅に見直ししましたところ、上半期の赤字を挽回するにとどまり、連結ベースで、売上高 12,469 百万円、経常利益 10 百万円、当期純利益 5 百万円、個別ベースで売上高 6,098 百万円、経常利益 142 百万円、当期純利益 126 百万円にそれぞれ修正いたしました。

以上

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき予想したものであり、実際の業績はさまざまな要因により、これらの予想値と異なる場合がありますことをご承知おき願います。